

1	(1) 4 8 6 7	(2) 1 1 6 6	(3) 2 0 5	(4) 1 4 0 4
	(5) 2 6 9 2	(6) 1 1 4 8 4	(7) 4 6 5 0	(8) 6 1 9 0
	(9) $\frac{73}{89}$	(10) ⑦ 5 (L)	⑧ 5 5 5 (mL)	(11) 2 0 5 (m)
	(12) 1 6 (個)	(13) 2 0 (円)	((10)完答)	

2	(1) 1 3	(2) 1 6 9	(3) 1 3 個
---	---------	-----------	-----------

3	(1) 1 まい分	(2) 6 まい分	(3) 1 2 通り
---	-----------	-----------	------------

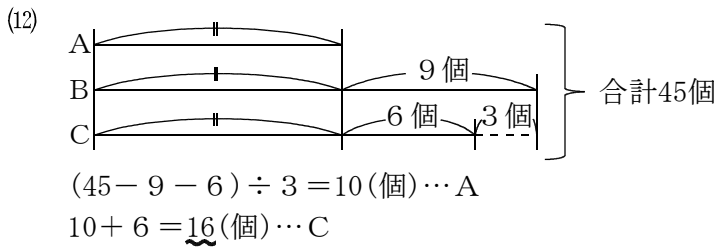
4	(1) 8 人	(2) 2 0 人多い	(3) 4 4 人
---	---------	-------------	-----------

5	(1) 1 8 通り	(2) 1 0 通り	(3) 7 6 通り
---	------------	------------	------------

(配点) 各4点×25

1

- (7) $3009 + \square = 7659$
 $\square = 7659 - 3009 = \underline{4650}$
- (8) $\square - 1208 = 4982$
 $\square = 4982 + 1208 = \underline{6190}$
- (10) $8 \text{ L } 4 \text{ dL} - \text{㊦ L } \text{㊧ mL} = 2 \text{ L } 845 \text{ mL}$
 $\text{㊦ L } \text{㊧ mL} = 8 \text{ L } 400 \text{ mL} - 2 \text{ L } 845 \text{ mL}$
 $= \underline{5 \text{ L } 555 \text{ mL}}$
- (11) $3 \text{ km } 298 \text{ m} - \square \text{ m} - 180000 \text{ cm} = 1 \text{ km } 293 \text{ m}$
 $3298 \text{ m} - 1800 \text{ m} - \square \text{ m} = 1293 \text{ m}$
 $\square \text{ m} = 1498 \text{ m} - 1293 \text{ m} = \underline{205 \text{ m}}$

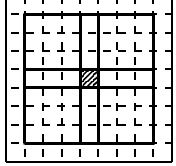
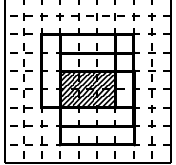


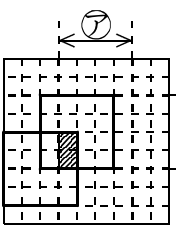
- (13) $520 - 220 = 300 \text{ (円)} \cdots \text{消しゴム } 5 \text{ 個}$
 $300 \div 5 = 60 \text{ (円)} \cdots \text{消しゴム } 1 \text{ 個}$
 $220 - 60 \times 3 = 40 \text{ (円)} \cdots \text{えんぴつ } 2 \text{ 本}$
 $40 \div 2 = \underline{20 \text{ (円)}}$

2

- (1) 第7組の左はしは7。
 第7組の左から7番目は、 $7 + (7 - 1) = \underline{13}$
- (2) 各組にならんでいる数の個数は、
 (組の番号 $\times 2 - 1$) 個。
 第7組は、 $7 \times 2 - 1 = 13 \text{ (個)}$ にならんでいる。
 $7 + 8 + 9 + 10 + 11 + 12 + 13 + 14 + 15 + 16 + 17 + 18 + 19$
 $= \underline{169} \rightarrow 13 \times 13$
 (各組の合計は、各組の真ん中にならぶ数を2回かけあ
 わせたものになる。)
- (3) 各組の右はしの数は、
 1, 4, 7, 10, 13, 16, 19, ... となるので、
 19は第7組の右はしにはじめてならぶ。
 そこからは、19が左はしにならぶ第19組まですべての組
 で19がならぶ。よって、 $19 - 7 + 1 = \underline{13 \text{ (個)}}$

3

- (1)  左の図の斜線部分になる。
 よって、1まい分。
- (2)  左の図の斜線部分になる。
 よって、6まい分。

- (3)  左の図より、2まい分が最大になる。
 かさなりが2まい分になるためには、
 ㊦を下2～下4の3通りのいずれか。
 ㊧を左2～左5の4通りのいずれか。
 よって、 $3 \times 4 = \underline{12 \text{ (通り)}}$

4

	A	B	C	合計
男性	㊡人	20人	□人	
女性	□人	㊢人	㊠人	㊦+8人
合計	㊦人			100人

- (1) 上の表より、女性の人数とAを買った人数の差の8人は、
 ㊠人と分かる。よって、 $\underline{㊠ = 8 \text{ (人)}}$
- (2) (1)より、 $\underline{㊡ = 16 \text{ (人)}}$
 表の㊦と太線で囲んだ部分を比べる。
 $\underline{㊦} = 16 + \square$ 太線 $= 16 + 20 + \square = 36 + \square$
 よって、 $36 - 16 = \underline{20 \text{ (人)}}$ 多い。
- (3) 女性の人数は㊦より8人多いので、
 (2)の式より、女性の人数 $= 16 + \square + 8 = 24 + \square$
 男性と女性の人数の差は、 $36 - 24 = 12 \text{ (人)}$
 よって、 $(100 - 12) \div 2 = \underline{44 \text{ (人)}}$

5

- (1) ㊦の方向へ2目もり動くとき、
 赤と青のサイコロの目の組み合わせ方は、
 (偶, 偶) $\rightarrow (2, 2)(2, 4)(2, 6)(4, 2)$
 $(4, 4)(4, 6)(6, 2)(6, 4)(6, 6)$ の9通り。
 (奇, 奇) $\rightarrow (1, 1)(1, 3)(1, 5)(3, 1)$
 $(3, 3)(3, 5)(5, 1)(5, 3)(5, 5)$ の9通り。
 合計で、 $9 + 9 = \underline{18 \text{ (通り)}}$
- (2) ㊧の方向へ1目もり動くとき、
 赤と青のサイコロの目の差が「1」になる。
 赤と青のサイコロの目の組み合わせ方は、
 $(1, 2)(2, 1)(2, 3)(3, 2)(3, 4)(4, 3)$
 $(4, 5)(5, 4)(5, 6)(6, 5)$ の10通り。
- (3) 2回で㊦の方向へ6目もり動くには、2回とも㊦の方向
 に動かなければならない。
 1回の差として考えられるのは、「1」・「3」・「5」のい
 ずれか。
 2回で㊦の方向へ6目もり動くには、
 5+1か3+3か1+5のいずれか。
 サイコロの目の差が「1」になるのは、(2)より10通り。
 サイコロの目の差が「3」になるのは、 $(1, 4)$
 $(2, 5)(3, 6)(4, 1)(5, 2)(6, 3)$ の6通り。
 サイコロの目の差が「5」になるのは、
 $(1, 6)(6, 1)$ の2通り。
 よって、5+1と1+5の場合は、
 それぞれ、 $10 \times 2 = 20 \text{ (通り)}$ ずつ。
 3+3の場合は、 $6 \times 6 = 36 \text{ (通り)}}$
 よって、 $20 \times 2 + 36 = \underline{76 \text{ (通り)}}$